

第72期 報告書

2020年4月1日～2021年3月31日

Asahi-Seiki

旭精機工業株式会社
証券コード：6111

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第72期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなにとぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月



取締役社長

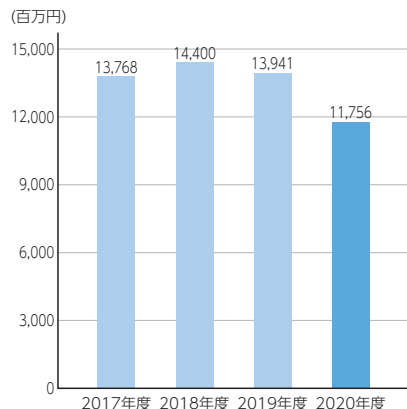
神谷 真二

事業の全般的状況

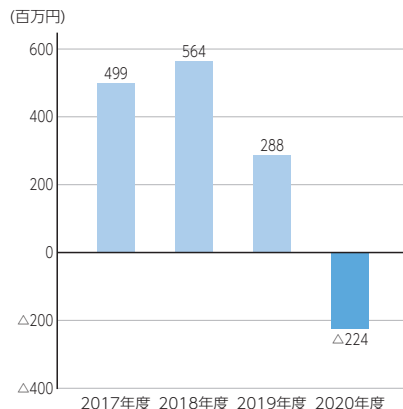
当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大によって緊急事態宣言の発令、外出自粛・休業要請など経済活動が制約される中、年前半の景気が大きく落ち込みました。後半にかけて一部景気の持ち直しの動きがみられましたが、感染再拡大の影響もあり、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと当社におきましては、下期以降、精密金属加工品及びプレス機械を中心に回復基調で推移したものの、上期（第2四半期累計期間）までの売上高の減少及び利益面での損失を補填するまでには至らず、売上高は117億5千6百万円と前期比15.7%の減少となり、利益面につきましては、誠に遺憾ながら、営業損失2億2千4百万円（前期は2億8千8百万円の営業利益）、経常損失1億3千万円（前期は3億5千9百万円の経常利益）となりました。当期純利益につきましては、特別利

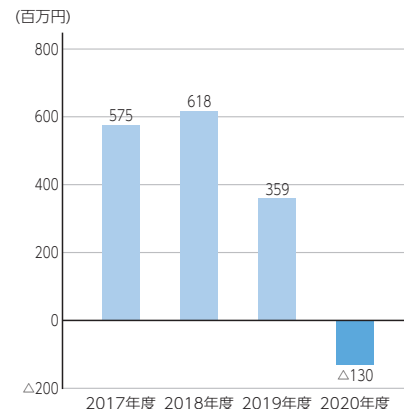
■売上高



■営業利益又は営業損失 (△)



■経常利益又は経常損失 (△)



益として、保有する投資有価証券の一部売却による投資有価証券売却益及び神戸工場の撤退に伴う受取補償金を計上したことにより、4億8百万円と前期比1.1%の増加となりました。

設備投資の状況

当期中に実施いたしました設備投資は総額5億9千9百万円で、その主なものは精密金属加工品製造設備の拡充・合理化に3億4百万円、小口径銃弾製造設備の更新に1億5千9百万円及び金属加工機械製造設備の拡充・合理化に1億1千7百万円であります。

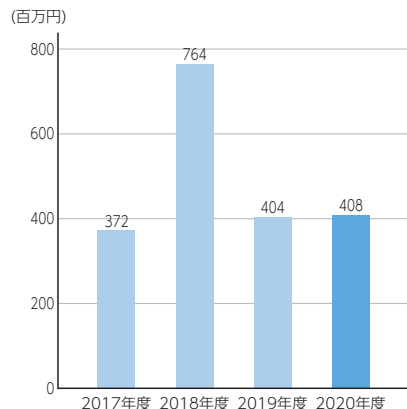
対処すべき課題

今後のわが国経済は、政府の新型コロナウイルス感染症への各種政策により持ち直しの動きが期待されるものの、感染再拡大による影響が懸念される等、先行き不透明な状況が続くものと思われれます。

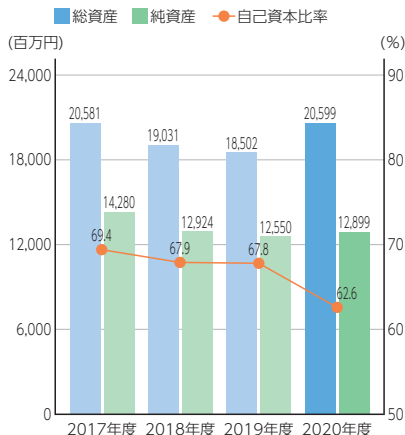
このような情勢のもと、当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組むことは勿論のこと、新たな経営体制のもと、当社を取り巻く経営環境や顧客からの受注の変化等に有効に対応すべく、生産性の一層の向上を図りながら人員の適正配置等を機動的に実行してまいります。また市場動向及び顧客ニーズの効果的な分析等による的確な状況把握のもと、顧客満足度の高い製品の開発、画期的な新技術の追求に積極的に取り組み、業績の回復を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなにとぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

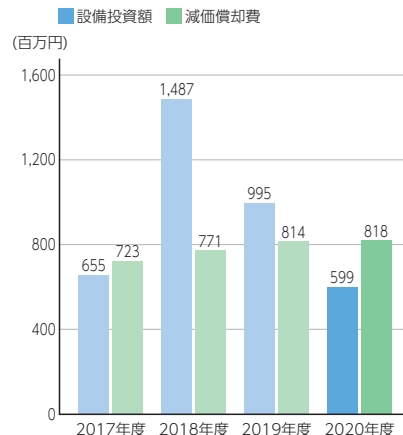
■当期純利益



■総資産・純資産・自己資本比率



■設備投資額・減価償却費



部門別状況等

精密加工事業部における当期の売上高は、68億6千5百万円と前期比7.2%の減少、機械事業部における当期の売上高は、48億9千1百万円と前期比25.3%の減少となりました。

その内容は以下のとおりです。

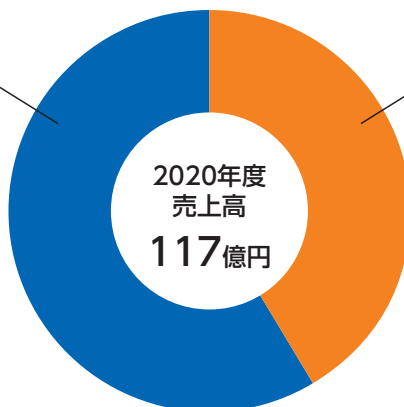
精密加工事業部

売上高 **68億円**
(58.4%)



機械事業部

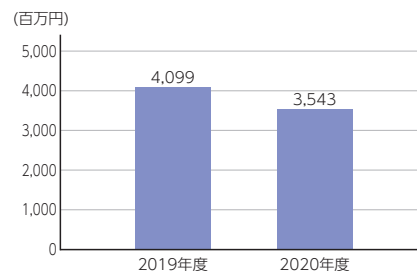
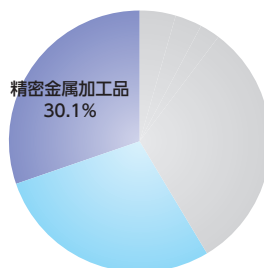
売上高 **48億円**
(41.6%)



■精密加工事業部

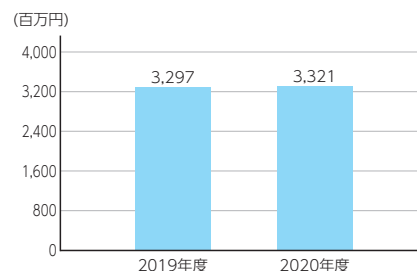
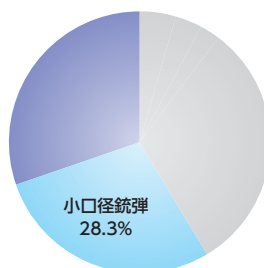
① 精密金属加工品

当期の売上高は、上期において減少した主力の自動車関連部品を中心に下期以降回復してきたものの、上期の売上減少を補填するまでには至らず、35億4千3百万円と前期比13.6%の減少となりました。



② 小口径銃弾

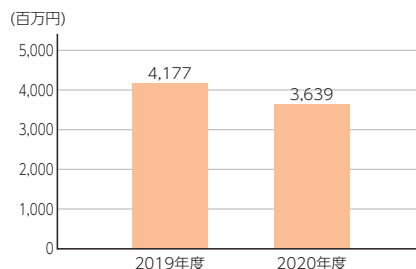
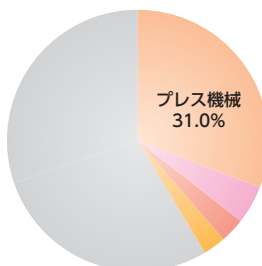
当期の売上高は、政府の予算執行を受け、33億2千1百万円と前期比0.7%の増加となりました。



■機械事業部

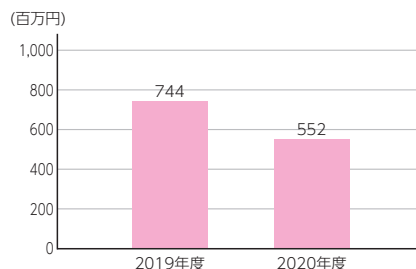
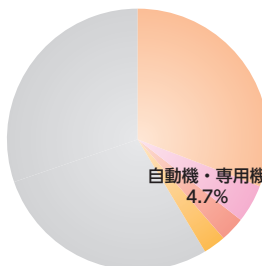
① プレス機械

当期の売上高は、リチウムイオン電池缶製造用プレスを受注が下期以降大幅に回復いたしましたが、かかる受注を得た時期や生産に必要な期間等の事情から当期中に出荷した台数は前年度を下回り、36億3千9百万円と前期比12.9%の減少となりました。



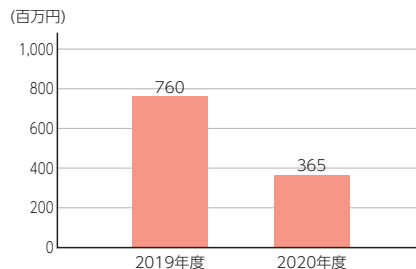
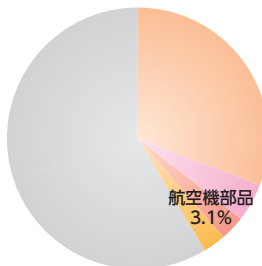
② 自動機・専用機

当期の売上高は、自動車関連向けが減少したことから、5億5千2百万円と前期比25.8%の減少となりました。



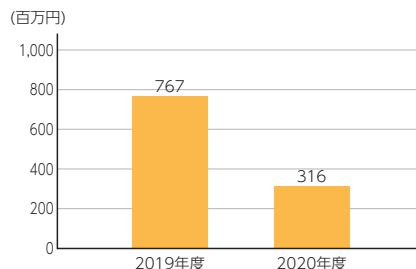
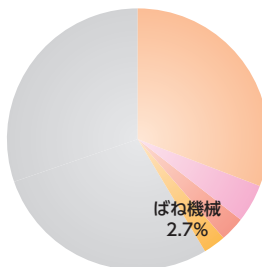
③ 航空機部品

当期の売上高は、旅客機の減産の影響を受け、3億6千5百万円と前期比51.9%の減少となりました。



④ ばね機械

当期の売上高は、顧客からの受注が依然として停滞しており、3億1千6百万円と前期比58.8%の減少となりました。



貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第71期 (2020年3月31日現在)	第72期 (2021年3月31日現在)
(資産の部)		
① 流動資産	10,791,495	13,141,240
現金及び預金	4,241,168	6,976,589
受取手形	70,734	43,101
電子記録債権	815,425	810,006
売掛金	2,205,700	2,003,407
製品	237,054	178,670
仕掛品	2,510,772	2,473,305
原材料及び貯蔵品	645,840	564,840
前払費用	23,480	22,421
その他	45,818	72,696
貸倒引当金	△4,500	△3,800
② 固定資産	7,710,739	7,458,120
有形固定資産	5,406,323	5,052,435
建物	2,120,853	1,960,299
構築物	290,374	321,258
機械及び装置	2,066,583	1,673,312
車両運搬具	29,208	16,163
工具器具備品	134,818	144,624
土地	647,760	665,733
リース資産	10,103	4,987
建設仮勘定	106,619	266,057
無形固定資産	100,565	91,213
ソフトウェア	90,866	84,930
リース資産	7,616	4,231
その他	2,081	2,051
投資その他の資産	2,203,851	2,314,471
投資有価証券	2,008,607	2,099,814
関係会社株式	10,000	10,000
長期前払費用	17,202	120
前払年金費用	40,302	46,641
繰延税金資産	—	30,090
その他	127,737	127,804
資産合計	18,502,235	20,599,360

Point ① 流動資産

前期末に比べ23億4千9百万円増加し、131億4千1百万円となりました。これは主に、売掛金が2億2百万円減少したものの、現金及び預金が27億3千5百万円増加したためです。

科 目	第71期 (2020年3月31日現在)	第72期 (2021年3月31日現在)
(負債の部)		
③ 流動負債	5,007,443	6,746,656
支払手形	196,610	261,060
電子記録債務	1,711,359	1,604,671
買掛金	557,109	665,866
短期借入金	1,700,000	2,930,000
リース債務	9,182	7,964
未払金	359,427	495,285
未払費用	67,522	78,941
未払法人税等	143,464	247,240
前受金	7,855	140,622
預り金	21,503	20,895
賞与引当金	203,407	266,708
役員業績報酬引当金	30,000	27,172
その他	—	226
③ 固定負債	944,396	953,685
リース債務	9,956	1,991
繰延税金負債	904	—
退職給付引当金	807,193	868,917
その他	126,342	82,776
負債合計	5,951,840	7,700,341
(純資産の部)		
株主資本	11,674,306	11,913,517
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金	3,468,202	3,468,202
資本準備金	3,468,202	3,468,202
利益剰余金	5,462,093	5,702,358
利益準備金	449,500	449,500
その他利益剰余金	5,012,593	5,252,858
別途積立金	2,392,500	2,392,500
繰越利益剰余金	2,620,093	2,860,358
自己株式	△1,431,406	△1,432,460
評価・換算差額等	876,088	985,500
その他有価証券評価差額金	876,088	985,659
繰延ヘッジ損益	—	△158
④ 純資産合計	12,550,395	12,899,018
負債及び純資産合計	18,502,235	20,599,360

Point ② 固定資産

前期末に比べ2億5千2百万円減少し、74億5千8百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が1億5千9百万円増加したものの、機械及び装置が3億9千3百万円減少したためです。

■ 損益計算書

(単位：千円)

科 目	第71期 (2019年4月1日~ 2020年3月31日)	第72期 (2020年4月1日~ 2021年3月31日)
売上高	13,941,653	11,756,345
売上原価	11,952,861	10,360,527
売上総利益	1,988,791	1,395,817
販売費及び一般管理費	1,700,142	1,619,817
営業利益又は営業損失 (△)	288,649	△224,000
営業外収益	92,870	139,238
受取利息	503	503
受取配当金	52,192	48,005
固定資産賃貸料	31,529	33,694
雇用調整助成金	—	48,652
その他	8,644	8,383
営業外費用	22,260	45,368
支払利息	7,227	18,100
固定資産賃貸費用	12,995	19,528
コミットメントフィー	—	6,684
その他	2,038	1,055
経常利益又は経常損失 (△)	359,258	△130,130
特別利益	188,639	724,100
投資有価証券売却益	188,639	161,472
受取補償金	—	562,627
税引前当期純利益	547,897	593,969
法人税、住民税及び事業税	127,432	215,457
法人税等調整額	15,983	△30,455
当期純利益	404,480	408,967

Point ③ 流動負債及び固定負債

流動負債は前期末に比べ17億3千9百万円増加し、67億4千6百万円となりました。これは主に、短期借入金が12億3千万円増加したためです。また固定負債は前期末に比べ9百万円増加し、9億5千3百万円となりました。

Point ④ 純資産

前期末に比べ3億4千8百万円増加し、128億9千9百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が1億9百万円増加したためです。

■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	第71期 (2019年4月1日~ 2020年3月31日)	第72期 (2020年4月1日~ 2021年3月31日)
⑤ 営業活動による キャッシュ・フロー	1,387,665	2,050,587
投資活動による キャッシュ・フロー	△753,807	△366,632
⑥ 財務活動による キャッシュ・フロー	617,228	1,051,275
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△34	189
現金及び現金同等物 の増減額	1,251,052	2,735,420
現金及び現金同等物 の期首残高	2,990,116	4,241,168
現金及び現金同等物 の期末残高	4,241,168	6,976,589

Point ⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

主に、減価償却費で8億1千8百万円及び税引前当期純利益で5億9千3百万円計上したことや売上債権が2億3千5百万円減少したことにより、資金は20億5千万円増加しました。

Point ⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に、配当金で1億6千8百万円支出したものの、短期借入金で12億3千万円増加したことにより、資金は10億5千1百万円増加しました。

下期以降プレス機械が大幅に回復

当期におけるプレス機械の売上高は36億3千9百万円と前期比12.9%の減少となりましたが、下期以降、リチウムイオン電池缶製造用プレスの受注が大幅に回復し、当期末時点での受注残は過去最高水準となりました。

当社は半世紀にわたり培ってきたトップクラスの技術を駆使して時代の先端をいく数々のプレス機械を開発しており、深絞り加工用プレスとしては、世界各国のユーザーから絶大なる信頼を得ております。加速度的に進む世界的な自動車の電動化への流れの中で、当社のプレス機械は、電気自動車の車載用リチウムイオン電池缶の生産に最適として高い評価をいただいております。コロナ禍により一時的に落ち込んだものの急速に回復しております。

当社は、このような状況のもと、生産性の向上及び生産体制の強化に一層取り組むとともに、お客様のニーズに沿った製品開発を進めて更なる受注拡大を図ってまいります。



▲iTP-60
主に円筒型電池缶の「2170」サイズの製造用として使用されています。



▲TMシリーズ
主に大型角電池缶製造用に使用されています。

神戸工場からの撤退

当社は、2021年3月末日をもって、三菱重工業株式会社神戸造船所内に開設しておりました神戸工場から撤退いたしました。

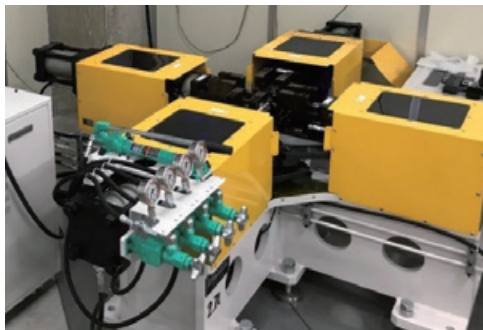
神戸工場は、2016年12月の開設以来、航空機部品加工を行ってまいりましたが、事業環境の変化に伴う取引先の生産計画の変更により当初想定していました工場稼働が困難な状況となり、また航空業界の動向等も踏まえ、神戸工場を維持することは難しいとの判断に至りました。

産学行政連携による共同研究への取り組み

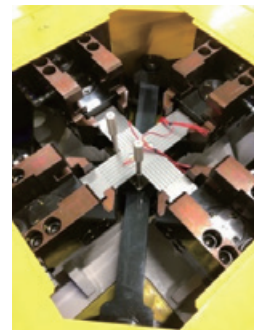
当社は加工技術の高度化や製品の高性能化を図るため、地域の大学や行政機関と連携し、次期製品をはじめ、将来を見据えた研究開発に取り組んでおります。当期は主に次の2つのテーマに取り組んでおります。

まず1つ目のテーマは「純鉄の加工と熱処理が成形品の集合組織に及ぼす影響の研究」です。金属材料はプレス加工のように塑性変形させると金属組織の結晶に乱れが生じ、磁気特性が悪化します。この磁気特性を悪化させずに塑性変形させる加工及び熱処理等の研究が本テーマであり、当社の精密金属加工品の性能向上に資する研究として取り組んでおります。

2つ目のテーマは「大規模材料データ及びCAEによる自動車向け設計生産技術」です。「CAE」とは、Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータシミュレーションにより工業製品の設計や構造の解析等を効率的に行うことを意味します。今回、二軸引張試験機での試験により実際に近いプレス成形加工状態を表現でき、従来よりも多くの解析パラメータの取得が可能となりました。本研究により、シミュレーション技術が向上し、プレス機械での金型調整期間短縮をはじめ、製造コストの削減、高品質な製品開発の実現が図れるようになります。



二軸引張試験機



引張試験の様子

株主優待のご案内

(1) 対象となる株主さま

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された100株（1単元）以上保有の株主さまを対象とさせていただきます。

(2) 優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上	クオカード 1,000円分

(3) 謹呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。



株式の状況

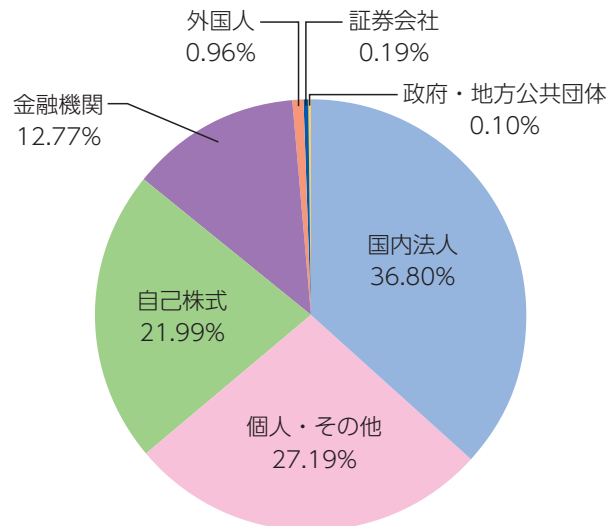
(2021年3月31日現在)

■発行可能株式総数	5,824,900株
■発行済株式の総数	3,088,739株
■株主数	2,194名
■1単元の株式数	100株
■大株主	

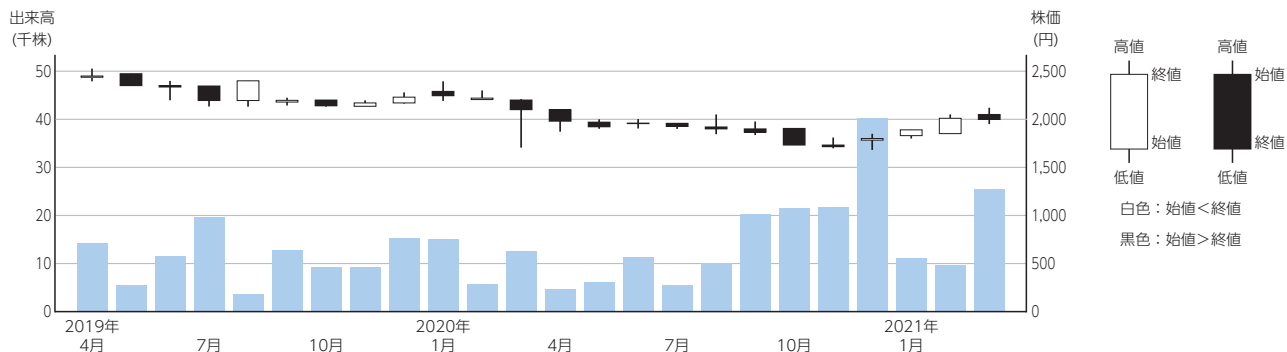
株主名	持株数(株)	持株比率
古河電気工業株式会社	455,800	18.91%
旭化成株式会社	168,900	7.00%
オークマ株式会社	120,000	4.98%
三谷伸銅株式会社	119,073	4.94%
株式会社三菱UFJ銀行	106,084	4.40%
東京海上日動火災保険株式会社	86,515	3.59%
岡谷鋼機株式会社	84,600	3.51%
株式会社みずほ銀行	56,507	2.34%
株式会社名古屋銀行	45,000	1.86%
知多鋼業株式会社	40,000	1.66%

(注) 1. 当社は、自己株式を679千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■所有者別株式分布 (2021年3月31日現在)



■出来高及び株価の推移



会社の概要

■会社概要 (2021年3月31日現在)

商号	旭精機工業株式会社 (ASAHI-SEIKI MANUFACTURING CO.,LTD.)
設立	1953年8月11日
資本金	41億7千5百万円
事業内容	精密金属加工品、小口径銃弾、プレス機械、 自動機・専用機、航空機部品、ばね機械等 の製造及び販売
従業員数	518名
拠点	
本社・工場	〒488-8655 愛知県尾張旭市旭前町新田洞5050番地の1 TEL (0561) 53-3112(代表)
東京支店	〒113-0034 東京都文京区湯島一丁目6番3号 TEL (03) 5805-6991
大阪営業所	〒564-0063 大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号 TEL (06) 6368-6251
神戸工場	〒652-8585 兵庫県神戸市兵庫区和田崎町一丁目1番1号 TEL (078) 651-3007 (注) 神戸工場は2021年3月31日をもって閉鎖いた しました。
ドイツ駐在員 事務所	Immermannstraße 13 D-40210 Düsseldorf ,Germany ABD Business Center内

■取締役及び監査役 (2021年6月29日現在)

取締役会長	山口 央
取締役社長	神谷 真二
常務取締役	安藤 充
常務取締役	工野 浩義
取締役	白石 憲生
取締役	松原 幸弘
取締役	石村 淳
社外取締役	溝田 義昭
社外取締役	尾形 昭彦
社外取締役	西野 充
常勤監査役	金 厚博
社外監査役	馬場 紀彰
社外監査役	上総 英男

ホームページのご案内

当社ホームページでは、製品情報やIR情報など、皆さまに当社を知っていただくための各種情報を発信しております。

是非ご覧ください。

旭精機工業

検索

<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>



▲トップページ

■株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 配当金受領株主確定日 3月31日
- 公告方法 電子公告(当社ホームページをご覧ください。)
<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>
- 株式上場市場 名古屋証券取引所(市場第2部)
- 証券コード 6111

■株式に関するお手続きについて

- 各種のお手続き、ご照会等のお問い合わせ先は以下のとおりです。

お手続き、ご照会等の内容	証券会社の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式
●住所・氏名等の変更	お取引の証券会社	三菱UFJ信託銀行 証券代行部
●単元未満株式の買取・買増請求		
●配当金の受領方法の指定・変更		
●特別口座から証券口座への振替請求	三菱UFJ信託銀行 証券代行部	
●支払期間経過後の配当金に関するご照会		
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会		
●その他のお問い合わせ		

- 三菱UFJ信託銀行 証券代行部の連絡先等は以下のとおりです。

- 郵便物の送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
- 電話でのお問い合わせ先 0120-232-711(通話料無料)
- 手続き書類のご請求方法 インターネットによるダウンロード <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

 旭精機工業株式会社

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

